



防犯やまがた

発行編集

公益社団法人
山形県防犯協会連合会
〒990-0023 山形市松波二丁目8番1号
TEL・FAX 023-624-3800
ホームページアドレス
http://www.yamagata-bouhan.or.jp/

令和2年度 防犯広報作品コンクール 受賞作品

防犯ポスター

最優秀



大石田町立大石田北小学校
5年 笹原 愛未



天童市立第一中学校
3年 大類 渚



米沢中央高等学校
3年 金子 夢生

優秀



尾花沢市立尾花沢小学校
5年 大類 優奈



白鷹町立荒砥小学校
2年 衣袋 莉茉



天童市立第三中学校
3年 稲葉 里桜



長井市立長井南中学校
3年 高山 琉唯

優良

◆南陽市立赤湯小学校
3年 秋葉 柚月

◆米沢市立南部小学校
3年 門坂由利子

◆朝日町立朝日中学校
2年 堀 龍空

◆米沢市立第四中学校
1年 佐藤 永琉

佳作

◆東根市立神町小学校
4年 長南 悠花

◆村山市立葉山中学校
3年 高島 彩未

◆鶴岡市立鶴岡第二中学校
3年 相沢 伽耶

防犯標語

最優秀

「防犯の意識を高めて 守る町」
「鍵かけた? あの戸にその窓 再確認」
「詐欺電話? 親子でつくろう 愛ことば」
「みんなでね さぎをなくそう 留守電で」
「非行の芽 摘んで植えよう 希望の芽」
「詐欺予防 家族で決めよう 愛言葉」
「地域の和 増える笑顔と 減る犯罪」
「ドラッグは 自分の人生 ブラックに」
「見守る目 街・人・心を 繋ぐ糸」

優秀

「みんなだし やめてといえる きみがいい」
「鍵しめて 犯罪ゼロへの 第一歩」
「君の未来 ドラッグなんかにあげちゃうの?」
「ネット世界 笑顔の後ろに 深い闇」
「SNS 便利な裏に 黒い影」

優良

「つくろうよ 広がる安心 戸締まりを!!」
「勇気だし やめてといえる きみがいい」
「鍵しめて 犯罪ゼロへの 第一歩」
「君の未来 ドラッグなんかにあげちゃうの?」
「ネット世界 笑顔の後ろに 深い闇」
「SNS 便利な裏に 黒い影」

佳作

「見えていても 見ぬふりしたら 同じ罪」
「鍵かけた? その確認で 空き巣ゼロ」
「安全は 地域 みんなで 確認だ」

真室川町立真室川あさひ小学校	6年	佐藤 柚月
大石田町立大石田中学校	1年	齋藤 敦生
県立新庄神室産業高等学校	2年	加藤 舞
村山市立戸沢小学校	6年	杉原 美咲
長井市立長井小学校	4年	田中 咲雛
山形市立第五中学校	3年	渡辺 斗彩
庄内町立余目中学校	3年	深澤 世那
県立庄内総合高等学校	1年	榎本 洸星
県立長井高等学校	2年	丸川 和紗
天童市立天童南部小学校	5年	吉田 心海
天童市立天童中部小学校	4年	松井 琴音
天童市立第二中学校	2年	後藤 友樹
酒田市立鳥海八幡中学校	3年	菅原 妃乃
日本大学山形高等学校	3年	高橋 美玖
県立南陽高等学校	1年	江口 愛奈
東根市立東根小学校	6年	加賀 悠也
米沢市立第七中学校	2年	渡部 由菜
県立上山高等養護学校	3年	横山 雄大



ネットには危険がいっぱい

SNSを利用して犯罪の被害に遭う子どもが増えています。また、被害にあった子どもの中で、フィルタリングをしていない現状が見られています。インターネットが身近になっている今日、子どもが被害に遭わないように、保護者がきちんと子どものインターネット利用を見守っていく必要があります。

フィルタリングを必ず利用しましょう

子どもが安全にインターネットを利用するためには、スマートフォンの場合、①②③の3つのフィルタリングが必要です。携帯電話大手3社が提供する「あんしんフィルター」などでは、簡単な設定で①②③のフィルタリングが可能です。



①携帯電話回線による接続

②無線LAN回線(Wi-Fi)による接続

③アプリによる接続



利用時間や利用できるアプリの制限など、子どもの学齢に応じた制限レベルを設定しましょう。

家庭におけるルール作り

日頃から家庭でコミュニケーションをとり、子どもにインターネットの危険性を教えることや一緒に家庭のルールを作ることが大切です。ルール作りは、できるだけスマホを持たせる前に決めましょう。また、ルールを守れなかったときのルールも決めましょう。

家庭でのルール作りのポイント

- ①使う場所（リビングで使う。自室・寝室に持ち込ませない）
- ②時間（使う時間、やめる時間）
- ③マナー（歩き・自転車・食事中にスマホをしない等）
- ④お金・課金（通信費、ゲーム、プリペイドカード利用など）
- ⑤フィルタリングする
- ⑥個人が特定されるような情報は書き込まない
- ⑦困ったら相談する



- ポイント1 なぜルール作りをしなければいけないのかしっかり話し合う
ポイント2 子ども自身がルールを作り、保護者と話し合って決める
ポイント3 最初からできないルールにしない

- ポイント4 ルールは子ども自身に書かせ、見える場所に貼る、定期的に見直す
ポイント5 親の気分でルールを変えない

子どもに関心を ~子どもを加害者や被害者にしないために~

こんなサインに注意!!

- ◆ 服装や身なりが派手になる
- ◆ 買い与えていないものを持っている
- ◆ 許可していないスマホアプリを使っている
- ◆ 言葉遣いや態度が乱暴になる
- ◆ 家族との会話を避ける
- ◆ 深夜の外出や外泊が増える
- ◆ 学校に遅刻したり欠席したりする

万引きや薬物乱用等といった非行に走る動機は、「いらいらして」「スリルや快感を味わいたくて」「友人に誘われて」など些細なものに見えますが、根本には、家庭の問題や人間関係の悩み、自分自身への悩みなどがあります。

物事の善悪をしっかり教え、規範意識を醸成するとともに、その背景にある悩みに耳を傾けましょう。

非行の防止、犯罪の被害防止のためには、周囲の大人が子どもの変化にできるだけ早く気づいて対処することが重要です。日頃から子どもの言動に関心を持つと同時に、子どもにひと声かけるなど関心を持って接することが大切です。